

# 中国観音霊場会 観音だより

観音ラブレター No.79

## 平成三十年代 普陀山団参報告

●編集・発行 中国観音霊場会青年部  
〒755-0067 山口県宇部市小串210 宗隣寺内  
TEL 0836-21-1087 FAX 0836-21-1137



### 友好の絆 普陀山団体参拝& 廈門(あもい)の旅

和やかな食事の席で、道慈法師(普陀山仏教協会会長・中国仏教協会副会長)のとても印象に残った言葉を紹介します。「日本のお寺は古くて立派で美しい。一方で現代人の信仰は薄らぎ、寺を訪れる人は減っていると聞く。これを時代と考えるのではなく、まずは僧侶が自身を戒めて正しい教えを実践し、自信をもって伝えていくことが必要であり大切なことではないか。」じつに耳の痛いことですが、厳しく戒律を守って生きる法師からの箴言でした。中国に対してよい印象を持っていない人が多いかもしれませんが、実際に中国へ行けばその印象はまるで違います。大きな経済成長の真只中にある、躍動的であり先進的であり魅力的なものです。どんないいものを取り入れ、独創的なものを次々と生み出すダイナミクスを感じました。活気に満ちた普陀山の境内は、老若男女を問わず線香を両手に、おでこのあたりに掲げて礼拝を繰り返しています。お参りの習慣と作法が人々に根付いており、大きな刺激になりました。廈門は、台湾海峡を隔てて台湾に臨む台湾都市で、美しいビーチや植民地時代のヴィラが並んでいます。郊外の土楼(世界文化遺産の集合住宅)やお茶畑など魅力たっぷりの巡拝旅行でした。ご参加いただきました二十五名の皆様、写経奉納の皆様、オフィス華林の林社長、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。  
第二十六番札所 一畑寺 住職 飯塚大幸

### 「中国観音 友の会」会員募集のご案内

年会費 ▶ 2,000円  
期間 ▶ 1ヶ年(例)平成30年12月15日振込の場合は、平成31年1月1日から平成31年12月末日となります。  
特典 ①「観音だより」を年4回指定の場所に郵送致します。  
②各寺院において色々な特典(記念品の進呈等)がございます。  
③入会初年度は、中国観音霊場会発行の「ザ・観音」を進呈します。  
④毎年秋に行われます合同法要において特別に祈願したお守札を授与致します。  
⑤2年目以降の継続会員には、継続年数(3年、5年、7年、10年、15年、20年)により記念品を贈呈致します。

詳しいお問い合わせは 中国観音霊場会「中国観音 友の会」事務局  
〒729-0471 広島県三原市高坂町許山22 佛通寺内 TEL 0848-66-3502 FAX 0848-66-2563

## 観音ひろば

Q うちの娘に霊が取り憑き、神社に相談したところ寺へ行くよう言われました。観音参りに霊験はあるのでしょうか?  
(40代・女性)

A 最近、よくこのような問い合わせがあります。あるのかないのかでなく、家庭内不和などから娘さん一人が悩みを抱え込んでしまったり、親の寄添いが欠如している場合が大半ですので、先ずは心療内科にも相談しつつ、平素より娘さんの心にじつと耳を傾けて下さい。慌てることなく、観音さまのようごと、そつと見守ることが出来れば、きっと大丈夫です。

回答者/第十六番札所 洞春寺 住職 深野 宗泉

## 先達だより

西大寺先達会 岡村 庄三郎

先達会に入会してまだ間がない年配の若輩ものです。企業戦士を自負する老兵が観音巡りのご縁を頂いたとき、ふと、己れの有り様を見返ることが出来る旅だなあと、ひとり納得したことが思い出されます。オノレガアルヨミル「観・自在」です。これをウツタテに参る先々の札所様、道中同席の諸先輩から多くを学ぶことができヨノコエヲキク「観・世・音」のお導きを頂いています。観音様はこんな愚凡が言うような方では決してなく、きつと苦笑されておられると思いますが、あらゆる御手立てで、私共を救って下さっていると実感しています。

当寺からは毎年一県のペースで中国観音霊場バス参拝をしています。先達は文字どおりご案内をさせて頂くお役目ですが、高齢化対策が大きな課題です。参加して頂いたのに、坂や階段でお参りできない方があったりしますと、バス車中から遙拝して頂き代参するほかにないですが、申し訳なく歯がゆい思いがします。又、最近ツアー料金が大幅に値上がりこれも難題です。「いいお参りが出来たよ」と言って頂けるように縋る思いの毎日です。そんな中で、私たちの親世代がしたように、観音様に守って頂いた有難い御利益を核家族化でも次世代、次々世代に各家庭で伝えることができればと考えたりします。手をあわせる度にそれが観音様へのご恩返しではないかと密かに思ったりするこの頃です。

ありがとうございました。  
恐々謹言

### 編集後記

看々臘月尽。年が明けてから各々取り組もう!と思いを馳せるのも良いですが、「いま」から始めるのは如何でしょうか?年を重ねるごとに、月日の訪れは早く感じるものです。あと10歳若ければ!と思う10年後の、10歳若返った姿が「いま」です。本年も残すところ僅か。どうぞ、お忘れ物なき様お過ごし下さい。  
(編集部 宗隣寺内 山中 祐生)

鳥取県			島根県			山口県			広島県			岡山県																							
第三十三番	第三十二番	特別霊場	第三十一番	第三十番	第二十九番	第二十八番	第二十七番	第二十六番	第二十五番	第二十四番	第二十三番	第二十二番	第二十一番	第二十番	第十九番	第十八番	第十七番	第十六番	第十五番	第十四番	第十三番	第十二番	第十一番	第十番	第九番	第八番	第七番	第六番	第五番	第四番	第三番	特別霊場	第二番	第一番	
大雲院	観音寺	摩尼寺	三佛寺	長谷寺	清水寺	大雲寺	雲水寺	一樹寺	鯛淵寺	神定寺	多門寺	観音寺	大照院	功山寺	宗隣寺	龍蔵寺	洞春寺	漢陽寺	般若院	大聖院	三瀧寺	佛通寺	向光寺	千國寺	西土寺	浄土寺	明王寺	円通寺	蓮台寺	法界寺	木生寺	誕生寺	正樂寺	餘慶寺	西大寺

寺院短信 第十九番札所 (山口県下関市)

金山 功山寺

高杉晋作による 功山寺決起の重要性

幕末の奇才、高杉晋作は、明治維新に先立つ四年前、元治元年(一八六四)十一月十五日の夜半に、わずか八十名余の同士を率いて、約一ヶ月前より功山寺の書院に潜居していた三条実美以下の五卿に決起の挨拶をして「これより長州男児の肝つ玉をお見せ申す」と宣告致しました。この功山寺決起こそ、



拳兵前に高杉晋作が五卿に挨拶した書院

観音様から「生きる力をいただく旅」、それが観音巡拝の旅。

寺院短信 第三十番札所 (鳥取県倉吉市)

打吹山 長谷寺

下山大明神

当山には白狐を祀る「下山大明神堂」があります。現在開山一千三百年を祝う大山寺より江戸時代前期に俊快和尚が長谷寺中興の祖となり勸請したと伝え、堂の裏側に穴があけてあり、夜に白狐が穴から出て衆生の悩み事を聞いて回り、本尊十一面観世音菩薩に伝えます。おかげを受けた多くの方がお参りされます。堂は本堂から五十メートル離れて大山に向かつて建てられています。ご参拝の折、お参りされてみては、いかがでしょうか。

歴代住職墓地に「中興第一世大阿闍梨俊快大和尚 寛永十一年六月十二日」の墓も在り大切に守りしています。長谷寺も間もなく開山一千三百年を迎えます。



寺院短信 第二十四番札所 (島根県雲南市)

慶向山 禅定寺

一陽を照らす 奉仕活動の実践

当山では、天台宗のキヤッチアップ・シリーズである一陽を照らす運動の一環として、檀信徒の皆様による境内清掃奉仕活動を年に二回行っております。春は御本尊聖観世音菩薩等のご供養前に、秋は天台大師及び伝教大師のご供養前にそれぞれ行います。皆様にお詣りいただき、掃き清められた境内と雄大な山並みを前に、禅定の境地を体験していただければと思っております。

ご詠歌「よろずごと 良きを定むる寺なれば 詣る心の末は頼もし」



中国観音霊場 第19番札所 金山 功山寺 〒752-0979 山口県下関市長府川端1-2-3 TEL0832-45-0258 FAX0832-45-1332



中国観音霊場 第24番札所 慶向山 禅定寺 〒690-2634 島根県雲南市三刀屋町乙加宮1874 TEL&FAX0854-45-4360



中国観音霊場 第5番札所 金山 遍照寺 法界院 〒729-0471 広島県三原市高坂町許山22 TEL0848-66-3502 FAX0848-66-2563



中国観音霊場 第12番札所 御許山 佛通寺 〒729-0471 広島県三原市高坂町許山22 TEL0848-66-3502 FAX0848-66-2563



今年もあと指折り数えるほどの日になりました。本年は七月の豪雨被害によって当山も断水、停電、参道の陥没等の被害にあいましたが、檀信徒の協力のもと何とか十一月紅葉の秋季拝観を終えることができ、無事一年を締めくくることができそうです。 来年も観音霊場参拝の皆様が気持ちよくお参りして頂けるよう、境内の環境整備、清掃に精進努力して行きたいと思っております。 最後になりましたが、観音霊場会寺院の皆様、並びに会員の皆様には心よりのご多幸を祈念致します。

ご挨拶

寺院短信 第十二番札所 (広島県三原市) 御許山 佛通寺

住職法話 第二番札所 (岡山県瀬戸内市) 上寺山 餘慶寺 住職 岡本 昌幸

縁

本年度より当山の住職を拝命させていただきました。様々な初めての体験をさせていただきながら早いもので気付けば年の瀬を迎えています。 その中で私が特に感じていることが「縁」の大切さです。

近年、「ほっち」という造語が若者を中心に使われています。「ひとりほっち」「ほっち」です。中には「ひとりの方がよい」という方もいるでしょう。心が疲れていくとき「ひとりになりたい」という気持ちはよく分かります。心のリフレッシュの方法としては一つの手段だと思えます。しかし、人は「ひとり」では生きていきません。

人は様々なものに支えられて生きています。家族・友人・地域社会…「自分は独り」と思っている方も目に見えない誰かに支えられているのです。例えば、今日の食べ物、着ている衣服を作ってくれた人。最近ではSNSでの繋がりもあるでしょう(依存してはいけません)。そして、「先祖さまや仏さまの存在。それらは全て「縁」で繋がっています。

人にしていただけて嬉しかったことを「有難い」と想い、伝え、自分のできる限りの良い行いを人さまに行う、このようにして「縁」を大切にしていきたいものです。そして、先ほども述べましたが、皆さまには仏さまとの「縁」もあります。どうぞ、地元のお寺はもちろんです。観音さまの功徳をいただきに中国観音霊場各寺院へもお参りください。

寺院短信 第五番札所 (岡山県岡山市) 金剛山 遍照寺 法界院

カメラ映えする 梵鐘楼

当院では今年の九月二十日から二月三日までの日没より午後十時三十頃まで境内ライトアップを実施しております。

特に梵鐘楼(昭和十三年建立)梵鐘には観世音菩薩の浄土である補陀落山の平和な世界を図絵文様になっている。帝室枝芸員 香取秀真作)は、LEDイルミネーションシヨンドライフト二基で照らし周辺のミニ



ジヤイチヨウの木々も幻想的な趣に日頃は違った境内を楽しみむことが出来ます。 どうぞ平成最後の晩秋から新年にかけても皆様の参拝を心よりお待ちしております。

観音様から「生きる力をいただく旅」、それが観音巡拝の旅。



魅力あふれる中国路山陽・山陰の名刹古刹37ヶ寺を結ぶ巡拝ルート 中国観音霊場会HP http://www.kannon.org 観音だよりバックナンバー掲載中

一照千 一陽 打吹山長谷寺